
開講科目名：国際経済論研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程 会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：佐藤 純恵

《授業の概要》

【授業の目標】

国境を越えた様々な活動の動きを通じて、国際貿易・国際金融の基礎的な概念を学ぶことにより、日本経済および世界経済の直面する諸問題を理解し、それらに対する解決策を提起できるような素養を身につけることを目標とします。

【授業の概要】

私たちの身の回りには、衣料品や雑貨等のさまざまな輸入品があります。一方、日本は自動車等を世界に輸出しています。このように世界の多くの企業は国境を越えたグローバルな活動を行っています。本講義では、貿易・金融に関する経済データや具体例を取り入れながら、国際貿易・国際金融の基礎的な概念を学びます。

【評価方法】

参加姿勢（10%）、講義期間中に実施する小テストまたはレポート（20%）、期末試験（70%）で評価します。

【授業計画】

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 国際収支統計
- 第3回 経常収支と貯蓄投資バランス
- 第4回 貿易自由化と貿易の利益
- 第5回 輸入関税政策と国内産業保護政策
- 第6回 交易の利益
- 第7回 特化の利益
- 第8回 国際分業の利益
- 第9回 絶対優位と比較優位
- 第10回 国際労働移動
- 第11回 外国人労働者受入れ政策
- 第12回 為替レートとは
- 第13回 為替レートの変動
- 第14回 為替相場制度
- 第15回 国際資本移動

準備学習として、日頃から新聞やニュースを通して、貿易や外国為替に関する動向を把握しておくこと。さらに、テキスト・参考書などを活用して、関連する箇所を一読しておくことが望ましい。

定期試験を実施する。

《テキスト》

大川良文『入門国際経済学』中央経済社、2019年

《参考書》

浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸『はじめて学ぶ国際経済』有斐閣、2011年
石川城太・棕寛・菊地徹『国際経済学をつかむ 第2版』有斐閣、2013年
伊藤元重『ゼミナール 国際経済入門 改訂3版』日本経済新聞社、2005年

